

預かり保育 夏期預かり保育はじまりました！

夏休みに入りました。そして、預かり保育が始まりました。梅雨明けして、毎日暑い日が続き、夏を感じます。園庭では水あそび、室内では好きなあそびをそれぞれに楽しめるよう環境を作っています。

水遊びでは、穴の開いた球体の手作りのおもちゃがあり、水を入れて出すと穴から水が出て、まるで球体に足が生えたように見えて、先生と何度も楽しんでいた年少さん。偶然の発見が喜びになりました。

空き箱などを使った工作遊びでは、自分の作った作品で遊んだり、先生や友達に自分の作品のこだわった部分を言葉で伝えたりしていました。この時期の年中さんは伝達する力がぐっと伸びていることを感じます。

また、積み木あそびでは、年長のお姉さんが自分の身長よりも高くどんどん積み重ねている様子をとなりで見っていた年少さんが見よう見まねで積み重ねる様子がありました。重ね方までには目がまだ向いていない様子が年少さんらしかったです。また、年少さんが届かない高さまで積み上げると、年長さんが「のせる？」と続きを乗せてくれました。こうしてあそびの中で自然と伝承がされていることを感じました。

子供たちはあそびの中で、たくさんの経験を重ね、学んでいます。

明日からも、お待ちしております！

年中主任



玉の穴から、水のあしがはえた?!



みて、ぼくのここはさ・・・



年長さんをまねて